

真心と奉仕の精神をモットーに

ふくだ通信

Vol. **02**
2021. March

Fukuda
General
Hospital

ティアモの夢はフクダの夢

2021
シーズン
いよいよ
開幕

枚方から Jリーグへ

福田総合病院がオフィシャルメディカル
パートナーとして応援しているサッカーチーム、
『FCティアモ枚方』が昨年、
Jリーグへの最後の登竜門となる
JFL(日本フットボールリーグ)昇格を果たしました！
そしていよいよ始まる2021シーズン、
さらなる活躍に注目です！



JFL **祝** 昇格

福田総合病院はFCティアモ枚方の
オフィシャルメディカルパートナーです。

福田 理事長

佐藤 選手

地元のチームを愛する、
それが究極の
サッカーの楽しみ方

ティアモで活躍する
姿を見せることで
職場に恩返しをしたい

佐藤 諒 さとう りょう
FCティアモのミッドフィルダーとして活躍中。
当院では総務部に勤務する。

サッカーで地域に元気を届けたい！

サッカーのこと、仕事のこと、理事長と当院職員の佐藤選手が熱く語り合います。

理事長：とりあえず、昨年はJFL*昇格おめでとう！

佐藤：ありがとうございます。理事長は本当にサッカーが大好きですが、ティアモのメディカルパートナーやスポンサーになるきっかけは何だったんですか？

理事長：サポーターが最後に行きつく究極のサッカーの楽しみ方に地元のチームを愛するというのがあってね。海外では生まれたときから100年くらい歴史のある地元サッカーチームがあって、親子何世代にもわたって応援するという文化がある。僕も色々と調べていくうちに枚方にティアモというチームがあるのを知って、サッカー好きの整形外科医として何かできることがあるんじゃないかと、思い立ったらその日のうちにチームにメールを送ってました。

佐藤：理事長から直々のアプローチだったんですね！？

理事長：この街に根付いて愛されるサッカーチームになりたいというティアモのコンセプトにも、勝手に僕と共通の思いを感じてね(笑)。その後Jリーグを経験した選手も加入して今のチームが出来、全国リーグで優勝してのJFL昇格、この2～3年はすごくドラマチックな展開でしたね。

佐藤：昨年はロスタイムでのゴールも多かったですね。

理事長：そう、心臓が止まりそうな試合が多かった(笑)でもそういうのを乗り越えていく姿を見るたびに「今年はいけるんじゃないか」っていう、スタンドも選手もみんなが感じてたんじゃないかな。選手の顔つきも例年以上にオーラがあって、鳥肌が立つような場面がたくさんあった。

佐藤：そういう空気感やスピード感みたいなものを感じられるのはスタジアム観戦の醍醐味ですね。

理事長：最後まで諦めない気持ちはどんな場面にもいきってくるし、こんな時代だからこそ、観戦した方が90分間の試合からそういうことを感じてくれたらいいなと思いますね。今年は遠征も試合数もさらに増えるから、佐藤君は仕事との両立もうまくバランスをとっていかないとね。

佐藤：昨年入職した時は不安で体力的にキツイ時もありましたが、丁寧に仕事を指導していただいたり、デイの利用者さんから「頑張ってる」と声をかけていただいたり、日々勇気やパワーをいただくことも多いです。お世話になっている福田病院や職員の皆さんにも、僕がティアモで活躍する姿を見せることで恩返しをしていきたいですね。

理事長：今後はティアモと当院の関係で地域に貢献できるイベントもどんどん企画していきたいですね。

佐藤：例えばサッカー選手によるストレッチ教室とか？

理事長：佐藤君の筋肉すごいねって(笑)、それを見て参加してくれた方が健康づくりに励んでくれたり、地域がどんどん元気になっていってくれたら嬉しいですね。

佐藤：はやくみんなが安心して集まれるようになってほしいな。スタジアムにもたくさんの方に応援に来ていただきたいですし、今年は監督が掲げているJFL優勝が僕たちの目標で、そしてもちろん最終的にはJリーグに。

理事長：ぜひ実現させたいですね。僕自身とても貴重な体験をさせてもらっていると思うし、今後ますますティアモが地域に愛される強いチームになっていってくれたら嬉しいです。佐藤君、今年も期待してますよ。

佐藤：はい、いい試合をして勝てるように頑張ります！

初心者でも安心！

サッカーのルール基礎講座

試合時間

前半：45分（+ロスタイム）

後半：45分（+ロスタイム）

ロスタイム（アディショナルタイム）：

試合中にケガの処置や交代で消費した時間が
前後半それぞれ45分経過後に試合時間として追加されます

Point /

終盤のロスタイムに
ドキドキの逆転劇や
ドラマが生まれること、
多いんです！



試合人数

1チーム11人(選手交代は通常3人～5人) ※試合により異なります

Point /



試合終盤になると、勝っているチームが時間稼ぎのため
にゆっくり歩いて選手交代をすることが。度が過ぎ
るとブーイングやイエローカードの対象になるけど、
これも勝つための駆け引きのひとつなのです。

セットプレー

ボールがピッチ外に出たり、ファール(反則)で試合が中断した時、
決められた場所に置いた(セットした)ボールを蹴って試合を再開
するもので、状況によって色々なセットプレーがあります。

ファール(反則)があった時のセットプレー

フリーキック

ファールを受けたチームが、
ファールのあった場所に置いた
ボールを蹴って試合再開。

Point /

セットプレーは得点
ゲットのチャンス！



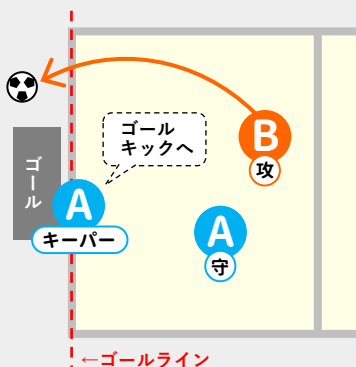
ペナルティキック

ペナルティエリア(右上のピッチ図参照)内で守備側にファール
があった時、ファールを受けた攻撃側のチームが相手ゴール
キーパーと1対1で向き合いシュートする。

ボールがピッチ外に出た時のセットプレー

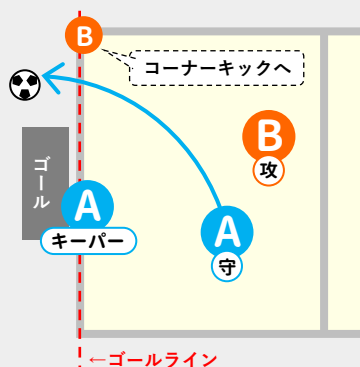
ゴールキック

ゴールを攻めているBチームがゴールライン
からボールを出したら、Aチームのキー
パーのゴールキックで試合再開



コーナーキック

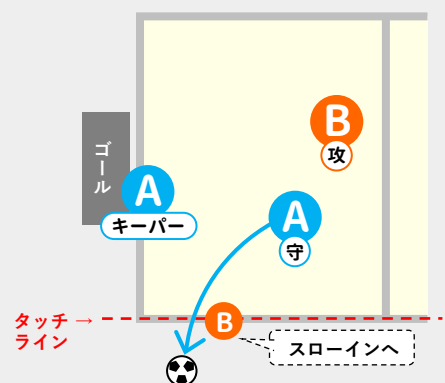
ゴールを守っているAチームがゴールライン
からボールを出したら、Bチームがコー
ナーに置いたボールを蹴って試合再開



スローイン

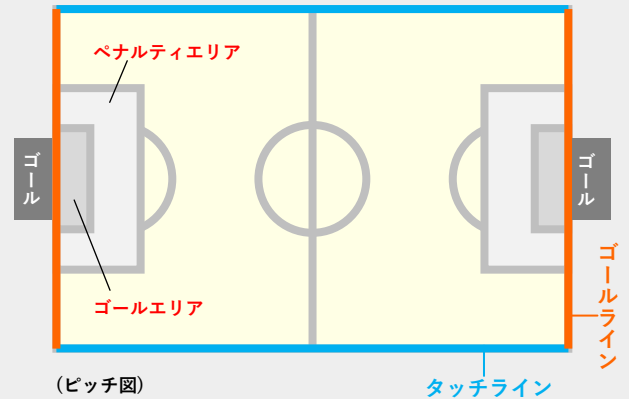
※手でボールを投げる

タッチラインからボールを出した相手チ
ームが行う。例えば、Aチームがボールを出
したらBチームのスローインで試合再開。



ピッチ

ゴールラインとタッチラインで囲まれた試合をするエリア。

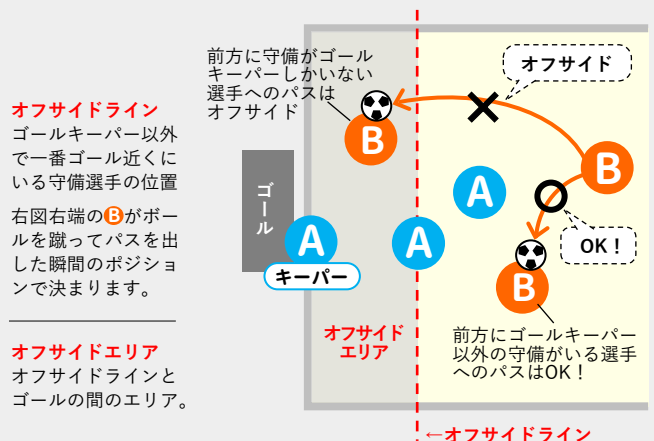


Point /
“フィールド”
ともいいます



オフサイド

サッカーの中で最もわかりにくいと言われているルールで
すが、理由を理解できればそう難しいものではありません。
“ゴール前での待ち伏せ防止”のためのルールで、攻撃側の
選手がゴール方向にパスを出した際、パスを受ける選手の
前方にゴールキーパー以外に守備の選手がいない場合、オ
フサイドとなり、守備側にフリーキックが与えられます。



Point /



オフサイドのルールがないと、ゴール前にいる選手に
大きなパスを出すプレーばかりになるでしょう。そうす
るとピッチの両端のゴール前ばかりに選手が集まり、
試合がとてつもないものになってしまうよ。

スポーツ医療で健康づくり

1 SPORTS×MEDICAL | 整形外科 | スポーツ医による幅広い医療提供

日本整形外科学会認定スポーツ医の資格を持つ当院理事長はFCティアモ枚方のチームドクターとして、選手がより良いパフォーマンスを引き出すよう身体機能向上のためのメンテナンスや治療を行っており、当院整形外科でも急性疾患・慢性疾患の一般患者様だけではなく、スポーツ外傷による疾患まで様々な分野の医療を提供しています。下記のような方も体を動かすときのお悩みや疾患があれば、ぜひ当院にご相談ください。

運動部の部活に励む学生さん

週末スポーツを楽しむ社会人の方

身体づくりを始めたシニア世代

注 射

手 術

リハビリテーション

治療から術後のリハビリまで
一貫した医療を提供

リハビリスタッフによる治療を受ける当院職員でFCティアモ所属の佐藤選手。「不調を感じた時にすぐに診ていただけて週末の試合にパフォーマンスを合わせてくれるので、とてもありがたいですね」

2 SPORTS×MEDICAL | フクダ リハビリフィールド・モットー | Mottoで楽しく! 健康維持と予防医療



予防医療として心身の健康を保つためのエクササイズプログラムを提供しています。様々なトレーニンググッズを用いて、個人のスキルや身体機能に合わせて無理なく健康づくりができます。

各種ヨガ

ボクササイズ

チューブトレーニング など

左記以外にも
各種プログラムを
ご用意しています

カフェのような落ち着いた雰囲気の外観

何でもお気軽に下記電話番号までお問合せください

スポーツ医としての知識を地域活性化に活かしたい

整形外科スポーツ医としての知識やアクティブな治療はスポーツマンだけのものではなく、高齢者の健康維持や予防医療にも有効だということがスタンダードになってきました。診察室ではなしたく「出かける用事もないのでほとんど家で過ごしている」とおっしゃるご年配の患者様が多くいらっしゃいます。そういった方が外に出て健康づくりや地域交流ができる場所、幅広い世代にもご利用いただけるヨガ教室やパーソナルトレーニングなど、今後も地域の皆様が元気に生き生きと暮らしていくための健康情報を積極的に発信していきたいと考えております。

日本整形外科学会認定スポーツ医／理事長 福田 正剛



“地域を元気に” ～ これからも福田総合病院は地域と共に歩んでまいります～

医療法人 御殿山
福田総合病院

大阪府枚方市渚西1丁目18-11

TEL : 072-847-5752

FAX : 072-847-2991

Motto フクダ
リハビリフィールド
モットー

大阪府枚方市渚西1丁目40-11-101

TEL : 072-807-4135

FAX : 072-807-4136

福田総合病院

Motto

コンビニ

御殿山駅

←至淀屋橋

京阪電車